

# 令和2年度定着度調査結果について

(令和2年度益田市定着度調査)

---

令和2年12月

益田市教育委員会

## 益田市全体の結果概要

### I 益田市版定着度調査について

#### 1 目的

- 平均点というものさしから一人ひとりの伸びに着目し、よりきめ細かな個別支援を図る。
- 「益田市教育ビジョン」に掲げる、6つの重点目標の到達度を確認し、今後の教育施策の改善と充実を図る。
- より良い指導法等を共有し、人材育成につなげる。

#### 2 調査実施日

令和2年5月27日（水）

#### 3 調査の内容

##### （1）学年

- ・小学校4年生～中学校2年生

##### （2）教科

- ・小学校は国語・算数
- ・中学校は国語・数学

##### （3）質問紙調査

- ・日頃の学校生活、家庭での生活等に係わること

### II 公表について

#### （1）公表の内容

- ・各学年の領域等の定着の様子
- ・「益田市教育ビジョン」に掲げる、6つの重点目標の到達度
- ・質問紙調査におけるクロス集計の結果

※教科における平均値等は調査主旨と異なるので公表しない

#### （2）本年度は導入初年度のため教科の伸びに関するデータはないので、公表しない

### Ⅲ 教科の結果概要

※5月に実施のため、調査問題は前の学年の内容(中1は小6までの内容)

国語		(正答率)				
		小4	小5	小6	中1	中2
教科の領域等	話すこと・聞くこと・書くこと	33.8	37.1	48.7	56.3	48.3
	読むこと	49.2	55.4	55.1	62.9	54.4
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	66.4	62.1	51.1	57.9	68.5

○「読むこと」は、学年が進むにつれて定着率が伸びる傾向がある。

●3つの領域において「話すこと・聞くこと・書くこと」がどの学年も定着率が一番低い傾向が見られる。

●「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、小学校においては学年が進むにつれて定着率が下がる傾向が見られる。

算数・数学		(正答率)				
		小4	小5	小6	中1	中2
教科の領域等	数と計算	66.4	57.8	58.8	63.8	50.2
	量と測定	73.0	61.5	51.1	48.7	55.1
	図形	46.8	56.5	54.8	57.2	51.0
	数量関係	51.1	59.0	49.7	60.5	56.2

○「図形」は、学年が進むにつれて定着率が伸びる傾向がある。

○「数量関係」は、中学校において定着率が伸びつつある。

●「量と測定」は、学年が進むにつれて定着率が下がる傾向が見られるため、日常の題材を活用する指導や量感を育てる指導がより必要である。

#### IV 質問紙より 益田市教育ビジョン6つの重点目標1

令和2年度の到達度および相関の高い項目

	重点目標	学年	益田市全体	質問項目	
1	郷土愛	小4年生	73.0	今住んでいる県や市町村のれきしや自ぜんにかん心を持っていますか	
		小5年生	68.3		
		小6年生	61.7		
		中1年生	53.8		
		中2年生	55.6		
		平均値	62.5		
		相関係数が高い項目（この項目も高めると効果があると考えられる項目） 【中2データ】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難しいことでも失敗を恐れないで挑戦する</li> <li>・地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり一緒に遊んでもらったりすることがある</li> <li>・学校の先生は自分のよいところを認めてくれた</li> <li>・家の人と学校の出来事について話をする</li> </ul>		
2	不撓不屈	小4年生	79.0	むずかしいことでもしっばいをおそれないでちやうせんしていますか	
		小5年生	71.6		
		小6年生	72.4		
		中1年生	67.4		
		中2年生	65.9		
		平均値	71.3		
		相関係数が高い項目（この項目も高めると効果があると考えられる項目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生の話や友だちの話をしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができる</li> <li>・名前を呼ばれたら「はい」とはっきり返事をする</li> <li>・だれに対しても進んで挨拶をすることができる</li> <li>・自分にはよいところがある</li> </ul>		
		小4年生	83.0	しょう来のゆめや目ひようを持っていますか	
		小5年生	83.7		
		小6年生	83.9		
		中1年生	80.7		
		中2年生	66.2		
		平均値	79.5		
相関係数が高い項目（この項目も高めると効果があると考えられる項目） 【中2データ】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にはよいところがある</li> <li>・難しいことでも失敗を恐れないで挑戦していますか</li> <li>・（中学校卒業後の進路について、どのようなことを重視して選びたいと考えていますか）自分が将来、職業や仕事に就くために役立つことが学べる</li> <li>・だれに対しても進んで挨拶をすることができる</li> </ul>				
2項目平均	75.4				

## 益田市教育ビジョン6つの重点目標2

### 令和2年度の到達度および関連の高い項目

	重点目標	学年	益田市全体	質問項目
3	活力	小4年生	76.6	自分には、よいところがあると思いますか
		小5年生	67.2	
		小6年生	70.6	
		中1年生	72.9	
		中2年生	65.2	
		平均値	70.5	
		相関係数が高い項目（この項目も高めると効果があると考えられる項目） 【中2データ】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の友だちは自分の良いところを認めてくれた</li> <li>・学校の先生は自分の良いところを認めてくれた</li> <li>・難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していますか</li> <li>・だれに対しても進んで挨拶をすることができている</li> <li>・先生の話や友だちの話をしっかり聞き、自分の考えを伝えることができている</li> </ul>	
	小4年生	79.0	むずかしいことでもしっばいをおそれないで ちょうせんしていますか	
	小5年生	71.6		
	小6年生	72.4		
	中1年生	67.4		
	中2年生	65.9		
平均値	71.3			
相関係数が高い項目（この項目も高めると効果があると考えられる項目） 【中2データ】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生の話や友だちの話をしっかり聞き、自分の考えを伝えることができている</li> <li>・名前を呼ばれたら「はい」とはっきり返事をする</li> <li>・だれに対しても進んで挨拶をすることができている</li> <li>・自分にはよいところがある</li> </ul>			
2項目平均	70.9			
4	発信力	小4年生	70.8	先生の話や友だちの発表をしっかり聞き、発表 することができていますか 先生の話や友だち の発表をしっかり聞き、自分の考えを伝えるこ とができていますか
		小5年生	63.2	
		小6年生	60.6	
		中1年生	60.6	
		中2年生	63.2	
		平均値	63.7	
	相関係数が高い項目（この項目も高めると効果があると考えられる項目） 【中2データ】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語で自分の考えを理由をつけて発表したり、書いたりできた</li> <li>・名前を呼ばれたら「はい」とはっきり返事をする</li> <li>・だれに対しても進んで挨拶をすることができている</li> <li>・難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していますか</li> </ul>		

## 益田市教育ビジョン6つの重点目標3

### 令和2年度の到達度および関連の高い項目

	重点目標	学年	益田市全体	質問項目
5	自律	小4年生	79.6	「～です(か)。」「～ます(か)。」をはっきり言う ことができますか 時と場におうじた正しい言葉づ かいができていますか
		小5年生	82.1	
		小6年生	83.6	
		中1年生	83.5	
		中2年生	90.4	
		平均値	83.8	
		相関係数が高い 項目(この項目 も高めると効果 があると考えら れる項目) 【中2データ】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の気持ちやその場の状況を考え、優しい言葉遣いができている</li> <li>・人の集まるところは静かにし、その場にふさわしい態度を取ることができる</li> <li>・学習の準備を整え、授業に臨むことができている</li> </ul>	
6	支え合い	小4年生	80.2	相手の気持ちを考え、やさしい言葉づかいができていま すか
		小5年生	77.7	
		小6年生	76.5	
		中1年生	82.8	
		中2年生	87.4	
		平均値	80.9	
		相関係数が高い 項目(この項目 も高めると効果 があると考えら れる項目) 【中2データ】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時と場に応じた適切な言葉遣いができている</li> <li>・人の集まるところは静かにし、その場にふさわしい態度を取ることができる</li> <li>・先生の話や友だちの話をしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができている</li> </ul>	
		小4年生	80.5	学校の友だちは自分のよいところをみとめてくれました か
		小5年生	87.2	
		小6年生	86.5	
		中1年生	91.1	
		中2年生	89.7	
		平均値	87.0	
相関係数が高い 項目(この項目 も高めると効果 があると考えら れる項目) 【中2データ】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の先生は自分の良いところを認めてくれた</li> <li>・学校での生活は楽しかった</li> <li>・学校の先生は自分の悩みの相談にのってくれた</li> <li>・自分にはよいところがある</li> <li>・学級は学校行事等にまとまって取り組んだ</li> </ul>			
2項目平均	84.0			

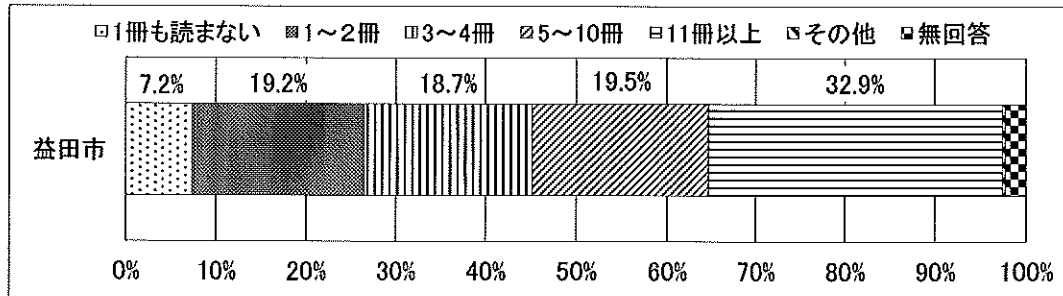
## V 質問紙と定着度より

### (1) クロス集計 1

### 1カ月の読書量と定着度 (例：小4)

問い：1カ月に、何冊ぐらいの本を読みますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌は含みません)

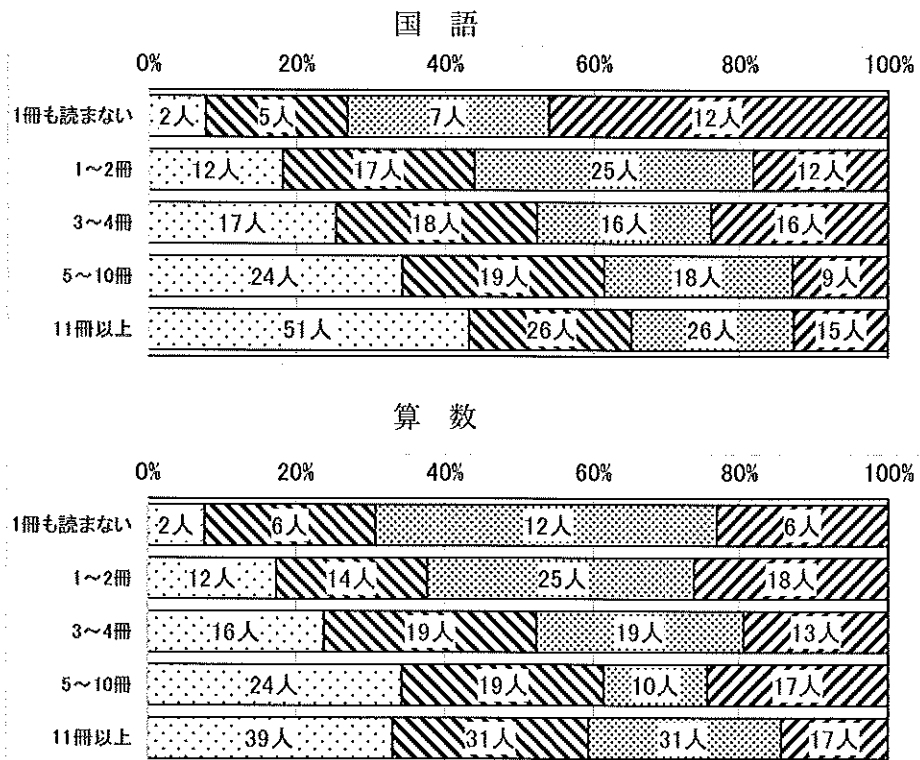
【例：小4】



32.9%の児童が1カ月に11冊以上の本を読むと答えている。一方で、7.2%は1冊も読まないと答えており、読書への働きかけが必要である。

【例：小4】

(グラフは左より、正答率75%以上、74%~50%以上、49%~25%以上、25%未満)

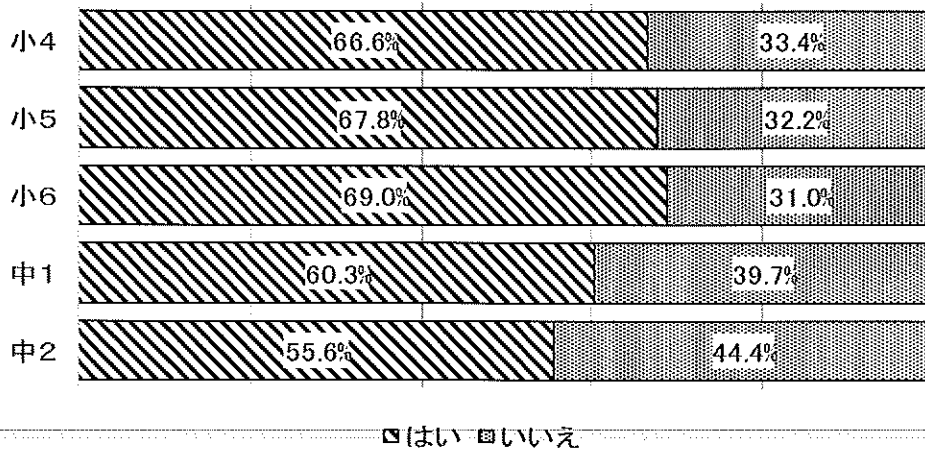


読書と定着度との関連性は、国語とは相関が予想できたが、算数においても読書量が多い児童の方が定着度が高い傾向が見られた。特に小4にその傾向が強く、下学年の段階から読書に親しむ習慣を身につけさせたい。

(2) クロス集計2

ゲーム使用の約束と定着度 (例：小5)

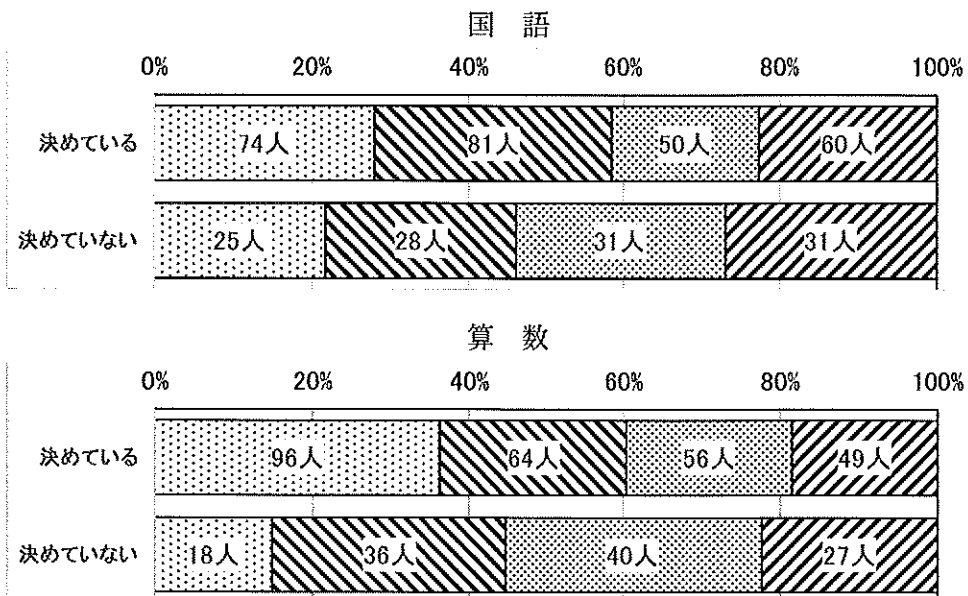
質問：テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも入ります）をすることについて、家の人と約束を決めていますか



メディアコントロールの取組の一つとして、ゲーム等の時間のルールを決めることをお願いしているが、中学校になるとルールを決めている割合が減っている。

【例：小5】

(グラフは左より、正答率 75%以上、74%~50%以上、49%~25%以上、25%未満)



「ルールを決めている」集団の方が、75%以上の正答率の割合が高い傾向がある。他の学年もほぼ同様の傾向が見られ、国語より算数・数学の定着率の差が大きい傾向がある。



## VI 今後の方策

### 1 各学校の実践に対する支援の充実

各学校には以下の資料の提出を求め、学校教育課が聞き取りを行い、今後の各校の学校運営について協議する。

- ①学年ごとに、教科(国語、算数・数学)ごとの児童生徒の定着度のレベルの分布状況(ちらばり)をグラフにしたもの
- ②学年ごとに、教科(国語、算数・数学)ごとの領域別に強みと弱みを分析し、特に弱みに対する指導の重点を記載したもの
- ③学年ごとに、「益田市教育ビジョンの6つの重点目標」の到達率を確認し、学校の教育活動の改善等を記載したもの

### 2 教育行政の取組方針との整合性

#### (1) 主体的・対話的で深い学びの授業の実践

質問紙に「あなたの勉強する理由について、勉強することが楽しいから、好きだから」、「先生の話や友だちの発表をしっかりと聞き、発表をすることができますか」などの項目があり、丁寧に推移を見取することで到達度の状況を確認していく。

#### (2) 小中一貫教育の充実

小学校4年生から中学校3年生(令和2年度は中学校2年生)までの、一人ひとりの個別の情報が同一資料で共有できることで、個別指導の充実だけでなく授業づくりや学校生活における強みと弱みの共有や、めざす児童生徒像の確立へつなげる。

### 3 今後の課題

- 「益田市教育ビジョンの6つの重点目標」や様々な計画におけるKPIを測ることができる益田市独自の質問紙の問いの再構成
- GIGAスクール構想における一人一台のタブレットの効果など、新しい時代における教育効果の評価方法の開発
- 来年度以降の「一人ひとりの伸び」に係わるデータの有効活用についての準備